

協歩
KYOHO

～ 冷静と情熱～

第46号 2020. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会

会長 高塚康治

編集責任者：恵比木健 第46期 ビジネスメディア委員会

雄飛



鳥取県西部中小企業青年中央会

第46期会長 高塚 康治

(株)富士オートメーション 代表取締役社長

S52年12月生まれ

〈中央会活動経歴〉

H19年度 入会

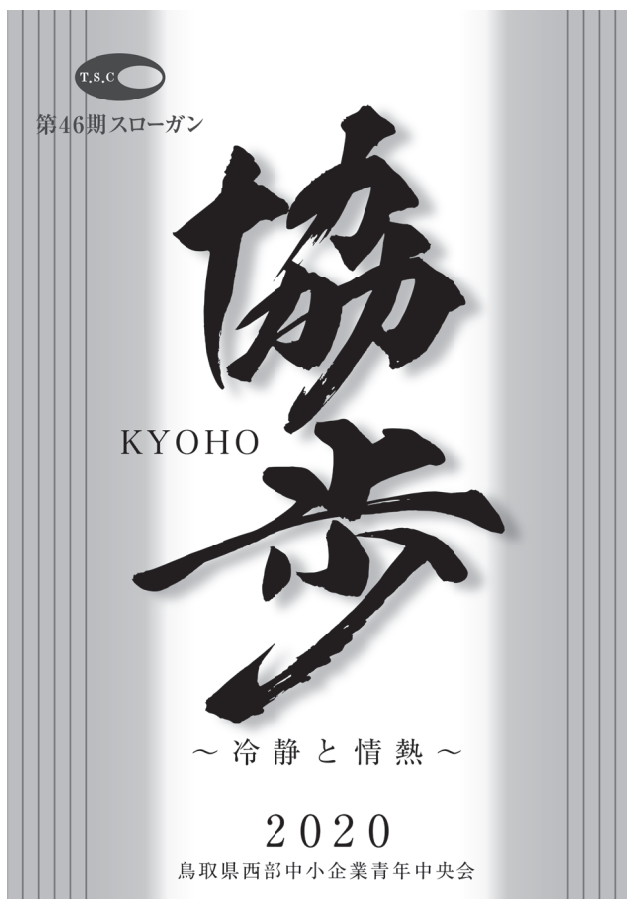
H26年度 副委員長

H28年度 委員長

H29年度 副会長

H30年度 専務理事

R01年度 監事



ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第46期会長を務めさせていただきます、高塚康治と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

当会は「英知・友愛・団結」の綱領のもと、45年の歴史を重ねてまいりました。年度ごとに思いを込めたスローガンを掲げ、その思いを具現化するために会員一人ひとりが活動を続け、繋がれてきた45年の歴史であろうかと思えます。

開催を危ぶまれながらも、令和2年度通常総会を滞りなく開催し、決算報告、事業計画・予算の承認を終え、第46期がスタートいたしました。しかしながら、未来は何が起こるかわからない。今、本当に痛感しております。このような経済・社会環境下において、我々に、いったい何ができるのでしょうか。45周年を迎えた西部青年中央会は、50周年への一步を踏み出します。今こそ改めて、当会の綱領である「英知・友愛・団結」この三つの力を合わせ、会員同士が協力し、共に歩み、前に進んで

いきたい。そんな思いを込め第46期のスローガンを『協歩』、テーマを『冷静と情熱』と致しました。

「歩」とは、少し止まると書きます。45年の歴史の中で恐らく初めて、通常総会懇親会を年間計画から削る決断をいたしました。しかし歩みを止めたわけではありません。冷静になってあらゆる難局に立ち向かう心を養い、決めたことには情熱をもって本気で取り組む。会員すべてが、そんな本気の一年になることを切に願います。そしてたくさんの力が合わさった西部青年中央会が、力強く歩んでいけるようみんなで協力し活動する所存です。

最後になりますが、当会は地域のため、会員自身のため、会員企業のため、協力し活動して参ります。OBの皆さま、各関係者の皆さま、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、挨拶と代えさせていただきます。一年間どうぞ、よろしくお願いいたします。

副会長・専務理事ごあいさつ



総務委員会担当

副会長 足立 駿

足立ふとん店米子店 店長
H23年度入会/H25年度 副委員長
H27年度 委員長/H28年度 県出向理事
H30年度 委員長

第46期総務委員会担当副会長を拝命しました足立駿です。中央会に在籍して10年、副会長という大役を仰せつかり大変光栄に思っております。

昨今のコロナ禍という未曾有の事態下において、正しい情報を得つつ、対策を講じながらどのように活動していくのかを、副会長という立場で考えていきます。また、高塚会長の掲げられたスローガン「協歩」を山内委員長、景山副委員長を中心とした委員会メンバーで体現し、次の世代へ繋いでいきたいと思っております。

新型コロナウイルス終息への道のりはまだまだ見通せず、活動に制限がかかる中ではありますが、少しでも前に進んでいきたいと考えております。微力ではございますが精一杯努めさせていただきます。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



継続実行委員会担当

副会長 中村友紀

株サンイントウエイ 代表取締役社長
H19年度入会/H21年度 副委員長
H30年度 委員長/R01年度 副会長

昨年に引き続き、副会長を拝命致しました中村です。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。今期担当させていただきますのは、安達委員長と新井副委員長率いる継続実行委員会です。主に、中央会全体イベントとなるお地蔵さまフェスティバルの開催と、長年中央会が携わってきました、皆生トラアスロンとの関わりを学び直し考察する委員会となります。

当日の事業を成功させることは勿論ですが、今一度中央会の伝統と継続の大切さを学び直し、変化する時代や環境に即した活動を継続実行できる形を考察していききたいと思います。コロナ影響等の厳しい環境だからこそ、一致団結し新たな環境で継続と実行をしていくために、微力ながら貢献して参りたいと思っております。



ビジネスメディア委員会担当

副会長 恵比木 健

株松本油店 課長代理
H27年度入会/H29年度 副委員長
H30年度 委員長/R01年度 専務理事

第46期副会長を拝命いたしました恵比木健でございます。第45期に引き続き大役を仰せつかり、大変光栄に思っております。昨期は多くの偉大なる先輩方がご卒業され、会員の顔ぶれも様変わりしました。また、新型コロナウイルス感染拡大を理由に社会状況も大きく変わろうとしています。このように変化が多い時期であっても、先輩方が築き上げられた中央会が変わらず有意義なものであり続けるために、副会長という立場で考え、歩んで参りたいと思っております。50周年に向けた第一歩となる今期、与えられた役目の責任をしっかりと果たします。しかしながら、まだまだ未熟な人間でありますので、皆さまよりご協力、ご指導いただきますようお願い申し上げます。



政治行政委員会担当

副会長 永井拓未

株クラム 代表取締役
H22年度入会/H26年度 副委員長
H29年度 委員長/H30年度 県出向理事

第46期副会長を務めさせていただきます永井拓未です。私事になりますが、早いもので今期入会10年目を迎えます。その節目の年に大役を仰せつかる事になり、身の引き締まる思いが致しております。

第46期高塚会長の思いを形にすべく、微力を尽くす所存でございますので、関係各位並びに会員皆様のご協力、よろしくお願い致します。

さて、昨今の新型コロナ対策の問題では、現場や市民の声が政治を動かしていることを再確認しています。担当致します政治行政委員会では、行政機関に我々中小企業の声を届けることをテーマに1年間活動致します。どうぞよろしくお願い致します。



地域の宝委員会担当

副会長 高井賢一

美酒佳肴 ゆらく 代表
H16年度入会/H26年度 副委員長
H28年度 委員長/H29年度 県出向理事
H30年度 副会長

第46期副会長を拝命し、地域の宝委員会の担当をさせていただくこととなりました。副会長の役は二度目となりますが、また新たな気持ちで、これまで諸先輩方からご教授頂いた教えをもとに、陰ながら中西委員長、宇佐見副委員長を中心とした委員会を支え、高塚会長年度を盛り上げていく所存でございます。

当委員会は、鳥取県西部地区の「宝」に着目していきます。感染症の脅威や自然災害など、次々と不安なことが起こる時代ですが、委員会メンバーと共に明るい話題や希望ある未来を発信し、新たな時代を力強く歩んでいけるよう精一杯活動してまいります。一年間よろしくお願い申し上げます！



専務理事兼会計担当理事

理事 木嶋康之

株D・I・P
H23年度入会/H25年度 副委員長
H27年度 県出向理事/H29年度 委員長
H30年度 県出向理事

第46期高塚会長より専務理事兼会計担当理事を拝命致しました木嶋康之と申します。私自身まだまだ若輩者でございますが、今期高塚会長が掲げられたスローガン「協歩」を全会員に浸透させ、当会で体現できるよう全力で務めて参ります。また、今期は会員拡大、会計担当の役も仰せつかりました。どれも会にとって非常に重要な役割となりますので、時には冷静に、また、情熱を持って進めて参ります。

今現在、大変な時期ですが、専務理事として今までと同様に会員にとって有意義な年度とする為、力を合わせ歩んでいけるようしっかりと役目を果たしたいと思っておりますので、一年間皆様からのご指導宜しくお願い致します。

委員長・理事ごあいさつ



総務委員会

委員長 山内正樹

㈲サンユービルド 代表取締役

H26年度入会／H27年度 副委員長／H28年度 会員拡大プロジェクトリーダー／H29年度 会員拡大担当理事／H30年度 委員長／R01年度 県出向理事

第46期総務委員会の委員長を拝命いたしました山内正樹です。当委員会は来賓、OBをお招きしての大切な事業を担当致します。難しい社会情勢の中ではありますが、まずは45年間築き上げてこられた会の歴史に真正面から向き合い、その中で今、我々に出来ることを熟考し工夫を加え企画運営致します。

今後、当会が更なる発展をし続けるためには会員個々の力強さが必要となると考えます。委員会活動を通じて出会う人から学び、自身の腹に落とし込み、力に変え成長していく。そのような思いを込め、委員会テーマを「人から学び、力を育む」と致しました。委員会メンバーの意見に耳を傾け、共に協力しあい歩みを進めてまいります。一年間よろしくお願い致します！



継続実行委員会

委員長 安達信彦

㈱平設計 設計課長

H28年度入会／H30年度 副委員長／R01年度 県出向理事

第46期継続実行委員会の委員長を務めます安達信彦です。宜しくお願い致します。

当委員会では、これまで5回開催してきました大山お地蔵さまフェスティバルを担当します。また、大山お地蔵さまプロジェクトと全日本トライアスロン皆生大会へのボランティア支援は当会の継続事業となりますが、より持続的な事業になるように具体的取り組みを検討していきます。

今、短期間の内に社会・経済環境は様変わりし、18名の方が卒会された当会も大きな過渡期を迎えました。委員会テーマを“Renovation”とし、元通りに戻すのではなく+αとして新しい機能や価値を向上させるべく、既存のシステムをどう改修していくのかを考えていきます。



ビジネスメディア委員会

委員長 柏木克仁

㈲育成 専務取締役

H30年度入会／R01年度 副委員長

第46期ビジネスメディア委員会の委員長を拝命いたしました柏木克仁です。ビジネスメディア委員会では、会社の「当たり前」を見直し、新たな可能性を創り出していくビジネス活動と、広報誌を組織として発刊し、中央会ホームページの管理・運営と活用方法の検証を行う広報活動が相互にあいまえながら活動していきます。よって一人一人が主体的に関わってもらいたいと願い「活かされる」を委員会活動テーマに掲げました。私たちは会員は所属企業から期待をもって貴重な時間や会費を頂き、会の活動を行っています。その思いを有効に活用

するかしなないかは自分次第。もう一度原点に立ち返り、会の活動によって活かされた点で、地域・社会に貢献していければと思います。1年間どうぞよろしくお願い致します。



政治行政委員会

委員長 仲佐大志

ライフメンテナンス 代表

H27年度入会／H29年度 副委員長

第46期政治行政委員会の委員長を務めさせていただきます仲佐大志です。委員会テーマを“謙虚～共に学び、共に栄える～”とさせていただきます。謙虚とは、何ものからも学ぶという気持ち、またはその姿勢だと私は考えます。今まさに世界的に難しい局面を迎えていますが、この難局をどう考え、どう行動するのが重要だと思います。このような状況下だからこそすべてのメンバーと共に学び、協力していく事によりこの難局を乗り越え、また、その先に繋がる活動にしたいと思います。

国や行政の対策に注目が集まる中、地方での取り組みも評価されています。当委員会では地域における諸問題に着目し、調査研究を通して学び、会員の皆様にも役立つ活動をしていきたいと思っています。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



地域の宝委員会

委員長 中西悠介

㈱LABO 工事部次長

H28年度入会／H30年度 副委員長

この度、46期地域の宝委員会の委員長を拝命致しました中西悠介です。高塚会長より、地域の宝に着目し調査・研究するという活動方針を頂きました。その点を踏まえ、当委員会ではテーマを『発掘』とし、鳥取県西部にある地域の宝の発掘を委員会のメンバーと共に情熱をもって行い、1年間を通して楽しい活動にしたいと思っています。

また、担当させて頂く他団体との中海圏域交流事業に関しましては、会員同士の学びと交流を目的とした交流事業を開催出来ればと考えています。1年間、委員長という役を全力で頑張りますのでよろしくお願い致します！

令和2年度通常総会 「考動」から「協歩」へ

令和2年7月15日(水)、ANAクラウンプラザホテル米子にて令和2年度通常総会が開催された。まず、第45期山口会長の挨拶では、「会員皆のおかげで、今日という日を無事迎えることができた」と感謝の言葉から入り、「世の中で、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、難しい期間を経験したが、その中で可能な限りの活動を続けることができ、バトンを渡すことができる」と述べられ、中央会のさらなる発展を新会長に託され、会長の挨拶とされた。次に、新入会員のバッジ授与が行われ、豊嶋翔矢会員、伊澤佑矢会員、田本真大会員が青年中央会の新たな一員となった。続いて、竹谷会員の結婚祝いも行われ、「残り1年の中央会生活、残りの人生を夫婦で共にがんばっていきたい。」と幸せいっぱいの報告となった。



そして通常総会が執り行われ、第45期堀尾副会長が議長に選任された。第1号議案【令和元年度事業報告、ならびに収支決算承認の件】および、第2号議案【令和2年度事業計画、ならびに収支予算書(案)承認の件】の両議題が満場一致で承認された。

引き続き次年度会長バッジ授与が行われ、第45期山口会長から第46期高塚会長の襟元に金バッジが付けられた。山口会長からの「がんばって下さい!」という力強いエールに、高塚会長は「身の引き締まる思い、『協歩』のスローガンのもと、会員全員で協力してともに歩んでいけるようにしたい。」と決意を述べられた。

続いて、第41期会長 松田幸紀会員、第42期会長 竹ノ内賢一郎会員、第44期会長 秋里武信会員、第44期県会長 濱田修会員の4名に第45期山口会長から特別功労賞として感謝状と記念品が代表として松田幸紀会員へ手渡された。



続く会員表彰では、精勤賞26名を代表して宇佐見啓輔会員が、また皆勤賞22名を代表して濱真一会員が、それぞれ表彰された。

最後に委員会表彰が行われ、優秀委員会には、年度を通して高い出席率を誇った継続準備委員会が受賞し、第45期石田委員長より「卒会者から新入会員まで力いっぱい活動してもらった。」と感謝を述べられた。最優秀委員会は第45期住委員長率いる総務委員会が受賞し、「信じられない心境、『真心』というテーマをもって全力で突き進んできた。ありがとうございました。」と感謝の想いを伝え委員会表彰が締めくくられ、令和2年度通常総会は幕を閉じた。

(記事:原)



第45期 卒会式

通常総会に続いて卒会式が行われた。この日、松田幸紀会員、竹ノ内賢一郎会員、秋里武信会員、濱田修会員、砂原弘明会員、道田直樹会員、石原効会員、福山輝展会員、赤井宏之会員、権田和志会員、戸田博之会員、村田博会員、橋本真和会員、堀尾裕之会員、西田裕志会員、河上定弘会員、安達孝宏会員、武田希会員の18名が晴れて卒会となり、第45期山口会長より卒会者へ卒会証書と記念品の授与、花束が贈呈された。祝辞として山口会長より「今後私たちは皆様のご活躍に負けないよう、中央会を引き継ぎ、育てていきたいと思ひます。ありがとうございます」と言葉が贈られた。

続いて卒会者タイムの時間が設けられ、5名の卒会者から現役会員に向けてメッセージを頂いた。砂原会員から「中央会の活動を通して、皆さんとの繋がりを持てたことが嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました」と述べられた。濱田会員からは「本当にたくさんの方にお世話になりました。今後委員会活動の中で大変な部分もあるかと思いますが、色々なことが身に付く会ですので、しっかりと活動をしてもらいたいと思ひます」と述べられた。秋里会員からは「多くの方々にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。挨拶等の基本的なことは肝に銘じておいてほしい。新入会員にはきちんと教えてあげて、先輩会員は自ら率先してやっていくことで、今後も中央会がより良く続いていくことと思ひます」と述べら



いう場を設けていただきありがとうございます。私の人生の15年間を中央会が彩り鮮やかにしてくれたと思っています。中央会生活に悔いはありません。現役会員の皆さんには、自分たちが中心だということを胸に刻んでいただき突っ走ってってもらいたい。今後のご活躍を期待しています」と述べられた。現役時代の思い出や現役会員へのアドバイスなど、それぞれの個性を発揮された熱い



メッセージで、会場から笑いが起こる和やかな場面もあった。最後に卒会者より目録贈呈があり、代表の権田会員より山口会長に手渡された。こうして、寂しさの中にも笑顔あふれた晴れやかな45期卒会式は終了した。



(記事:渡部)



鳥取県中小企業青年中央会第46回通常総会

令和2年7月21日(火)、ホテルニューオータニ鳥取において、鳥取県中小企業青年中央会通常総会が開催された。新型コロナウイルス対策のため、総会には新旧の県役員のみ出席し、他の会員は委任状出席となった。

冒頭、第45期林県会長が、「ここまでこれたのは皆さんのおかげです。感謝申し上げます。新型コロナの影響で事業が中止に追い込まれたが、皆さんのご協力により中央会の長い歴史の1頁をめくることができました」と挨拶された。

続いて、議長に選出された第45期吉田県副会長ののもと、第1号議案「令和元年度事業報告並びに収支決算書承認の件」、第2号議案「任期満了に伴う新役員指名承認の件」、第3号議案「令和2年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件」のすべての議案が満場一致で承認された。

通常総会終了後、同会場にて、鳥取県中小企業団体中央会谷口会長ご臨席のもと、第45期から第46期への引継式が行われた。まず、第45期林県会長から第46期富田県会長に県会長の鍵の引き継ぎが行わ

れた。そして第46期富田県会長が「46期も新型コロナウイルスのため対策を考えながら進めていかねばならないが、『相利共生』のテーマのもと異なる業種の会員同士が協力し合って成長していけるよう事業を進めていきたいと思うので、ご協力お願いします」と挨拶された。

引き続き、鳥取県中小企業青年中央会谷口会長より第45期林県会長及び各地区の県副会長へ盾の贈呈が行われ、一連の行事が締めくくられた。

新型コロナウイルスのため、例年の全会員を対象とした通常総会及び懇親会の開催はかなわなかったものの、本通常総会は、異例の状況の中でより一層県全体で協力し合って困難に立ち向かう誓いの場となる事業となった。

(記事:住)

(政治行政委員会)



R02.07 (R02年) 入会
(推薦者) 福山(輝)
竹ノ内(賢)

てしま しょう や
豊嶋 翔矢 A型
日産プリンス鳥取販売 営業課主任
自動車の販売及び修理
〒689-3541 米子市二本木714-5
☎27-0321 FAX27-0324

〈コメント〉 この度入会させて頂きました日産プリンス鳥取販売(株)米子二本木店の豊嶋翔矢です。皆様の活動を見て学び、自身も成長できるように元氣良く頑張りますので宜しくお願い致します。

(ビジネスメディア委員会)



R02.07 (R02年) 入会
(推薦者) 堀尾(裕)
恵比木(健)

いざわ ゆう や
伊澤 佑矢 A型
米子信用金庫 営業統括部次長
金融業
〒683-8601 米子市東福原2丁目5-1
☎33-1220 FAX33-1402

〈コメント〉 7月に入会させていただきました米子信用金庫の伊澤佑矢と申します。様々な業種の方々と活動を通じて、地元に戻元できるネットワークを作ることが目標です。至らぬ点も多々ありますが、よろしくお願い致します。

(総務委員会)



R02.07 (R02年) 入会
(推薦者) 西田(裕)
岩田(剛)

たもと まさ ひろ
田本 真大 A型
山陰酸素工業 営業本部LPガス部課長
一般高圧ガス・LPガス・関連機器販売
〒683-0845 米子市旗ヶ崎2201番地1
☎32-2300 FAX22-5476

〈コメント〉 7月に入会させて頂きました田本真大と申します。内気な性格ではありますが、皆様方と積極的に交流を図り、多くのことを吸収し成長していきたいと思っております。至らぬ点もあるかと存じますがご指導賜りますようお願い申し上げます。



業種の会員同士が協力し合って成長していけるよう事業を進めていきたいと思うので、ご協力お願いします」と挨拶された。



引き続き、鳥取県中小企業青年中央会谷口会長より第45期林県会長及び各地区の県副会長へ盾の贈呈が行われ、一連の行事が締めくくられた。

新型コロナウイルスのため、例年の全会員を対象とした通常総会及び懇親会の開催はかなわなかったものの、本通常総会は、異例の状況の中でより一層県全体で協力し合って困難に立ち向かう誓いの場となる事業となった。

新型コロナウイルスのため、例年の全会員を対象とした通常総会及び懇親会の開催はかなわなかったものの、本通常総会は、異例の状況の中でより一層県全体で協力し合って困難に立ち向かう誓いの場となる事業となった。



8月役員会報告

令和2年度8月3日(月)米子市公会堂 集会室6・7にて8月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・総会、卒会式開催報告の件
- ・8月例会開催の件
- ・9月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長まで、ご確認ください。

編集後記

この度、発行致します雄飛は第46号。そして来月発行するハンサムは、なんと375号となります。改めて本会が歩んできた軌跡に、関わられた方々の思いや覚悟を実感しました。そして、今まで創り上げてきた歴史を受け継ぎ、当たり前を破壊しながら新たな価値を創造し配信していけるよう委員会メンバーと共に楽しいHandsomenessを皆様に届けていきたいと思っております。

(ビジネスメディア委員会委員長 柏木 克仁)